

活動分野	森に親しむ講座		
タイトル	水辺の植物の成長と繁殖 樹木編、水草編		
実施日時	平成29年5月23日(火) 10時~12時		
実施場所	千葉市民会館		
受講者	35名	FIC会員他スタッフ	13名

活動の内容

水辺に生える植物の成長・繁殖のしかたや日常生活での利用、水辺の植物にまつわる近年の話題など、我々の生活に身近なことからについて解説しました。

1. 樹木編

水辺の樹木の代表的なものは山中の溪流ぞいの樹木(トチノキやサワグルミ・オニグルミなど)、河の中流・下流に多いヤナギ類、泥湿地に生えるハンノキ類など。樹木は春の芽吹きとともに茎を伸ばして葉を茂らせ、開花・結実し、種子散布して子孫を増やす。また水辺の樹木は日常生活でもよく利用される(トチの蜂蜜、食用のクルミ、生け花素材のヤナギなど)。

2. 水草編

身近な水草には次のようなものがある。

- ① 山の水草・・・ミズバショウ、リュウキンカ、ワサビ、バイカモなど
- ② 里の水草・・・アサザ、オニバス、ハス、ジュンサイ、オモダカ・クワイ、ガマ、ヨシ

マコモ、ヒシ、カキツバタやノハナショウブ、ハゴロモモ、マツモ、クロモ、ウキクサなど水草も樹木と同じように茎を伸ばして葉をつけ成長し、開花・結実する。水草の茎は水底の泥中にあり、普段は目に触れることはない。泥中の茎は地下茎(あるいは根茎)と呼ばれ、樹木の枝のように葉をつけながら伸長し、先端に越冬芽をつける。地下茎の馴染みのものにはワサビ、レンコン、クワイなどがある。また水草の繁殖は種子のほか殖芽によるものが多い。

3. 水辺の植物の話題

- ① 河川・湖・ため池などの水質悪化⇒水草の絶滅⇒アオコなどの異常繁殖・・・印旛沼・手賀沼
- ② 埋土種子による水草の再生・・・印旛沼・下総神崎、千葉県立中央博物館生態園など
- ③ 外来動物(ザリガニ、ブルーギルなど)による水草の食害・・・じゅんさい池など
- ④ 特定外来植物の繁茂による在来植物の駆逐・・・オオフサモ、ナガエツルノゲイトウなど

- ⑤ 食用になる水草・・・葉)セリやミツバ、ジュンサイ、クレソンなど(茎)レンコン、ワサビ、クワイ、マコモなど(花・果実、種子)ヒシの実、ハスの実など

